

翼 竜

～これが空を飛ぶ動物だ！～

? 翼竜ってどんな生き物なの？

現在の地球上には約1万種の鳥がいて、その多くが空を自由に飛びまわっています。しかし、はるか大昔恐竜の時代には鳥とは異なる、空を飛ぶ生物がいたと考えられています。それが翼竜です。

翼竜は、恐竜がいた時代とほぼ同じである約2億2800万年前の三畳紀後半から約6600万年前の白亜紀という時代の終わりまでの約1億6200万年間、世界中に広く生息していました。

翼竜は、恐竜と同じ祖先から進化しましたが、恐竜ではなく、恐竜と近い関係にあるは虫類の仲間なのです。また、海にも翼竜と同じようには虫類の仲間である首長竜や魚竜がいました。一方、鳥類は恐竜から進化したものとされ、翼竜とは直接の関係はありません。もっとも巨大な翼竜であるケツアルコアトルスの翼長は、10mを超えるといわれています。

翼竜は、ランフォリンクスの仲間（ランフォリンクス類）とプテラノドンの仲間（プティロダクティルス類）とに二分されます。ランフォリンクス類は原始的で、プティロダクティルス類はあとで現れた進化したグループと考えられています。最近になってこの2つの仲間の中間種であるダーウィノプテルスが発見されました。この翼竜はランフォリンクス類のように長い尾をもちながら、プテラノドンの仲間のように大きな頭をもっていました。二つのグループの間には両方の特徴をもった翼竜類がいたのです。



? ランフォリンクスってどんな翼竜なの？

ランフォリンクスの仲間は、頭が小さく、長い尾を持っていたことが特徴です。ランフォリンクスは、翼を開いても2mにも満たない翼竜でした。現在、化石が発見されている中で最も小さい個体では、20cm程度です。ランフォリンクスの化石は、約1億5000万年前のジュラ紀の石灰岩（ドイツ南部）の中から発見されました。長くて幅広いあごを持ち、魚をくわえるための外へ突き出した鋭い歯を持っていました。頭部は鳥のような形をしており、細長く先のとがったくちばし状の口の中には、20本程の歯しかなかったため、歯と歯の間には大きな隙間があります。



展示中のランフォリンクスの復元模型

? プテラドンってどんな翼竜なの？

プテラノドンの仲間は頭が大きく、尾のない体の特徴です。プテラノドンは、翼を広げると8mにもなる翼竜の一種です。今から約7000万年前の白亜紀後期に生息していたと考えられています。翼を広げ、上昇気流に乗って、たくみに空を滑空していたと考えられています。あごには歯がなく、ちょうどペリカンのように魚をすくい上げて飲み込んでいたと考えられています。日本では、北海道で化石の断片が発見されています。



プテラドン（地上に降りたすがた）
展示場パネルより

たんきゅう 探究・研究コーナー！ 調べてみよう！

科学センターには、翼竜サンタナダクティルスの頭骨のレプリカが展示されています。この翼竜は、プテラノドンの仲間でしょうか。それとも、ランフォリンクスの仲間でしょうか。展示場で調べてみましょう。